

Union Press 埼玉大学教職員組合ニュース

平成29年2月発行 第1号

平成29年1月30日に埼玉大学教職員組合の総会が開催され、2月から新執行部の活動が始まりました。Union Press 新執行部第1号は、恒例の執行委員の自己紹介です。残念？ながら、新執行部は男性ばかり。プラス組合書記の寺田さんです。お楽しみに・・・【広報担当：近藤】

【 山本 良 （委員長・教養学部） 】

2014年度に引き続いて、再び委員長の重責を担うことになりました。「まさかぁ、もう一度やるの〜？」と思ったことは事実ですが、近代日本の政治史上で2度総理大臣になった人もおります（最近もいるけれど、これは論外！）。また、某学部でも学部長に「再登板」した方もおられます。誠に非力ですが、皆さまのお力をお借りして、職責を果たす所存です。

私の専門分野は国際法です。国際法というと、かつては法学部の中ですら「エッ、そんな法律あったの？」といわれて肩身の狭い思いをしてきました。しかし、最近では、新聞紙上でも毎日のように国際法に関する話題が取り上げられて、「床屋政談」的な議論に事欠きません。多くの方々に関心を持つこと自体は、喜ばしいことです。しかし、正確な知識と冷静な判断が必要だと思えます。こうした観点から、ボク自身は「楽しい講義」を目指して日夜「粉骨砕身」しているつもりですが、学生主催の「鬼仏表」では、常に「鬼」の欄のトップの座をしめているかもしれません。これからは、このエネルギーを団交にぶつけることにいたしま〜す！

【 川元 克秀 （書記長・教育学部） 】

先日、新委員長より「数年前に自分が委員長をした時の『組合員募集のピラ』では、『組合はアヤシイ団体ではない』『組合はカルト宗教ではない』といった主旨の案内をした」ということを聞かせてもらいました。確かに私も、ここ20年くらいの労働組合に対する一般の『視線』は、著しく否定的なもの・叩かれる対象になってきたと感じています。では果たして、なぜこんなにも労働組合が毛嫌いされる社会になってしまったのでしょうか。今、私たちが生活する西洋型先進国としての日本では、その社会システムの基底が、『新自由主義』思想の中にあると言ってよいでしょう。新自由主義の思想は自ずと、人々が『繋がる・連帯する』という作用よりも、人々が個々に勝手気ままに『離れていく』影響をもたらしやすいと思えます。そのような中で、離散していく我々の心を繋ぎ得るのが、「市民性」の概念。埼玉大学で働く労働者としての私たちが、一人の地球市民として「組合」で『繋がり・連帯する』ことを通し、身近な「権力」にからめ取られずに生きていく姿を提示し続けることが、共に働く仲間の勇気の源になってくれたら・・・と心から祈っています。

【 金房 広幸 （副委員長・経済学部） 】

財務担当の副委員長を務めることになりましたカナフサといいます。学部での担当科目は生産管理論です。一般的に言うなら、メーカーの製造現場で遅滞なく計画どおりにモノを造ることに係る諸問題を研究しています。

研究分野との関連(科学・技術)でいいますと、いま大きな問題として注目されているのが軍学共同研究を安倍政権が推し進めようとしていることです。大学予算はどんどん削られる一方、2017年度予算では、防衛省が大学や公的研究機関などに軍事研究を委託する「安全保障技術推進制度」に前年度予算の18倍にもなる110億円を計上し、「戦争する(できる)国」を目指している、と言えます。

軍学共同研究に反対する運動も広がっています。大学の根幹にかかわる大きな転換点に私たちがいることを忘れずに、微力ではありますが貢献したいと思っています。

【 近藤 一史 (副委員長・教育学部) 】

副委員長を務めることになりました、教育学部自然科学講座理科分野の近藤です。専門は、「物性物理」と言っていました。真空中で薄膜を作製する技術を用い、自然界では混じり合わない2つの金属を原子数層程度の厚さでサンドイッチ状に交互に積層して「新物質」を作るとというのが、大学院での研究テーマでした。その後、就職したのは、陽電子・電子線・ダイヤモンド合成などの様々な研究部署を移り渡ってきたため、専門と言えるものがありません。埼玉大学に来てからは教員養成と物理教育が専門でしょうか。学外では、物理オリンピックで物理の裾野を広げる活動を行っています。

執行委員は何度か務めました。学長選で当選した候補者が色々な経緯で学長に就任できず、しばらく学長不在であったり、教育学部の幼児教育研究室(幼研)が廃止になったり、独法化の際に就業規則の作成にかかわったり、過半数代表が発足したり、と色々あった時に執行委員になっていたのもう引退しても許してもらえるかと思っていたのに、困惑しています。以前、組合員が100名を切ると大変だと思っていたのですが、すでにそうだったのでびっくりです。パワーが減ってきたとしみじみ思うこの頃ですが、よろしくお願い致します。

【 浅子 孝一 (教育学部大久保農場) 】

今年度執行委員を担当します教育学部大久保農場の浅子です。農場は教員免許にかかわる栽培実習(野菜、花)の野外フィールドとして利用され、ものづくりと情報・技術分野、乳幼児教育コースを中心に多くの学生たちが学んでいます。私はその実習支援に携わるとともに、収穫物の学内の販売などにかかわっています。大久保農場は一般公開されていますのでお気軽にお越しください。組合員としては5年目ですが少しでも貢献できたらと思います。一年間どうぞよろしくお願い致します。

【 渡辺 大輔 (教育機構基盤教育研究センター・教文委員) 】

初めて執行委員を務めることとなりました。組合員としてはまだ初心者の渡辺です。私自身、任期付きの採用で、所属機構にも多くの任期付き教職員がいます。将来展望の持てる安定した就労について少しでもお役に立てればと思っています。また専門は教育学で、特にジェンダー/セクシュアリティ教育の課題に取り組んでいます。ジェンダー/セクシュアリティ平等の労働環境の創出にも貢献できたらと思っています。

【 寺田 礼子 (組合事務室) 】

一人部屋での組合事務になり4年目。寂しいかと思いきや、毎日誰かの訪問と、多才な方々との交流で、何かしらの刺激を受け「老けてなんてられません(笑)」。以前、ユニオンプレスを配布する姿を、保険のオバサンと間違えられましたが・・・今後も趣味のダンスで健康を維持し皆様のお手伝いをさせていただきますのでよろしくお願い致します。(組合員で全大教の最新情報をご希望の方はご連絡下さい。メールで配信いたします。)

人事課を訪問して参りました！

新執行部の最初の仕事として、前委員長、前書記長、新委員長、新副院長（2名）の計6名で人事課に挨拶（殴り込み？）に行ってきました。山本新委員長にその時の様子を記事にいただきました。

2月14日（火）、午後1時に、前年度の組合の執行委員である馬場先生（委員長）および高橋先生（書記長）と、新執行委員の川元先生（書記長）、金房先生（副委員長）、近藤先生（副委員長）および山本（委員長）の総勢6名で人事課を訪問して参りました。人事課からは、小林課長および三浦課長補佐が出席して対応してくれました。ちなみに、本日はバレンタイン・デーですが、もちろんボクらは「手ぶら」です！

今回の訪問は、人事課に対する新執行委員の挨拶が主たる目的ですが、話はおのずと給与と、4月の職員の新入研修会の際の組合への勧誘の件に及びました。特に、多くの組合員にとって関心のある話題は前者ですが、本給俸以外の「その他の部分」（賞与や地域手当を指す）に関しては、執行状況を見ながら今のところ鋭意検討中であり、今月末にならないとどうなるか分からないということでした。また、そのため3月のサラリーにこの点を反映させるのは、時間的にむずかしいとのことでした。なお、3月中に、一度懇談会を設けたいとのことでもありました。

今回の訪問は、非常に和やかな雰囲気の中で行われました。それは、ご存じの方も多いかと思いますが、小林さんも三浦さんも教育学部にいた経験があります。そのため、近藤先生とは旧知の間柄です。また、組合事務所が現在の場所に移転するにあたり、小林さんが色々と配慮して下さった、と思っています。三浦さんには、ボクが過半数代表の際に、丁寧に対応していただきました。そんなわけで、外交用語でいうところの「率直かつ実務的な」会談ではなく、スマイルのある顔合わせになったと思います。労使関係が緊張感を失い必要以上になれ合うような状況はもとより好ましくないと思いますが、いつでも「まなじりを決して」（=意を決して・勇気を奮い立たせ・勇気りんりん）というのも生産的ではないでしょう。人事課との良い関係を維持することにより、良好な労使関係を築き、結果として埼玉大学を構成するすべての方々の暮らしの向上につながれば良いと思っています。

組合とは何か？

組合とは、一言でいえば「教職員の暮らしと職場をまもる組織」です。もう少し力強い言葉でいうと、労働者の権利を守る組織なのです。

◎なぜ組合じゃなきゃダメなのか？

組合と似たものとして過半数代表があります。組合と過半数代表は密接に関連していますし協力しています。しかし、過半数代表には団体交渉権がありません。組合だけが団体交渉を行い、労働条件の改善にイニシアティブを発揮できるのです。もうお分かりのとおり大学を「よくする」ために活動している正式な団体なのです！



埼玉大学教職員組合 〒338-0825 さいたま市桜区下大久保 255 第2 生協 1階
E-mail : saikyoso@gr.saitama-u.ac.jp URL : <http://Kumiai.client.jp>
電話/FAX : 048-853-5609 (内線) 3160
組合事務所の開室時間 : 月火水木 午後 12 時～夕方 5 時



「ライトノベル」とは？ : 書籍紹介

普段ですと、第1号は新執行部の自己紹介に少しの記事で終わるために、A4版の両面印刷1枚で収まるはずでした。しかし、今回は皆さん自己紹介に気合いが入り（実は、広報担当が組合活動以外の内容も書いてほしいとお願いしたためなのです・・・）、さらに「人事課訪問」の記事（これも気合いがはいつているようで・・・）が加わったため、A4版で3枚になってしまいました（前ページまで）。A4版で3枚というのは中途半端で、A4版ですと両面印刷しても2枚になってしまうので、ホチキス留めなど作業が大変です。両面のA3版にすると、裏面の半分（このページ）が白くなって、みっともないのです（メモ用紙にも使えませんね）。「広報担当の責任でA41枚分の内容どうにかせよ！」との天の声が聞こえてきました。以前のUPを見てみたところ、書籍の紹介がA4版で1枚分を占めている号がありましたので、今回はこれで切り抜けることにいたしました。紙の無駄と思われるかもしれませんが、おつきあいください（今回限りだといいいのですが・・・）。

出版業界が低迷で、多くの雑誌が休刊や廃刊になる中、「ライトノベル」は出版数を伸ばしているようです。埼玉大学生協でも、文庫本の反対側の棚に多くの「ライトノベル」が平積みになっています。一看すると、文庫本サイズのコミック（漫画）のようですが、れっきとした小説です。表紙は、どれをみても同じように見え、手にとるには少々抵抗のある感じです。ところで、「ライトノベル」とは何でしょう？ネットで調べてみると「10代から20代の読者を想定した、娯楽性の高い小説。」だそうです。「ライトとノベルをあわせた和製英語」で外国人には（日本人でもですが）全くわからない造語ようです。若者（たぶん、高校生・大学生）対象の書物なので、我々？には関係のない書物と思っている方が多いのではないのでしょうか？なかなか面白い作品も多いのです（だから売れているのでしょうか）。今回で最後になるかもしれませんが、お薦めを少し紹介しておきます。

【ビブリア古書堂の事件手帖】 ライトノベルのなかで、有名なのは「ビブリア古書堂の事件手帖」でしょう。2012年に文庫本初の本屋大賞にノミネートされ、テレビドラマとして放映されました。テレビは、本の面白さを十分に発揮できなかったのか、早々と終了してしまいましたが、文庫本の人気はたいしたものので、2月25日に最新版が発売されました。本を読むことが苦手で、就職先が見つからず、ひよんなことからビブリア古書堂でアルバイトを始める若者と、若い女店主の物語です。著名な作品（夏目漱石や太宰治など）に関わる事件が起こり、女店主が少しの情報から事件を解決していきます。著者は、事件毎に登場する物語を、読者に読んでもらいたいと思って書いているのだらうと思います（が、読んではいません）。

【神様の御用人】 一般に、神様は人の願いを叶えてくれるものですが、これは神様の願いを叶える御用人の物語です。登場人物は、定職に就かないアルバイトの御用人と狐の姿をした神様です。神様が出てきますので、古事記の話が出てきます（私は読み飛ばしていますが・・・）。とにかく、誤用人に頼み事をする（情けない）神様が出てくるところ、頼み事を解決するため、御用人と狐の姿をした神様（黄金）とのやりとりが楽しい作品です。現在、第6巻まで発売されています。

【初恋ソムリエ】 ライトノベルとは言っていないませんが、角川のキャラクター文芸と称しています。高校の吹奏楽部が舞台ですので、正に若者向きなのでしょう。吹奏楽の全国大会を目指す女子高生と部員たちの物語ですが、中国の一人っ子政策の端を発した人身売買などの悲劇など、内容は高校生から離れた、かなり深刻で社会問題を含んだ物語です。シリーズ物で、第4作目（「惑星カロン」）が最近発売されたばかりです。3月4日に「ハルチカ」という名で映画が公開されるようですが、何となく単なる学園物になりそうです。是非、書籍で読んでもらいたいと思います（読んでから観るか？観てから読むか？角川映画のふる〜い宣伝文句ですが、やはり前者が正解だと思っています：いずれも生協に並んでいます。なければ・・・）。